

たまやま振興株式会社経営健全化方針の策定について

1 策定の趣旨

平成30年2月20日付の総務省公営企業課長通知「第三セクター等の経営健全化方針の策定について」等により、第三セクターの経営が著しく悪化した場合には、市としての経営健全化方針を作成するように国から通知があったところである。この度、「たまやま振興株式会社」が平成29年に策定した経営改善計画を踏まえ、健全化方針を作成したことから、議会への説明と市民への公表を行うものである。

2 策定する必要がある出資法人等

・たまやま振興株式会社

※地方公共団体が出資（原則として25%以上）を行っている法人等のうち、債務超過である法人。

3 これまでの取組と今後の対応

(1) 平成29年度取組

たまやま振興株式会社においては、新たな自主事業の取組や営業強化、サービスの向上などを図り、利用客の増加や売上額の増収増益を目指し、29年12月に「経営改善計画」を策定している。市においては、29年度に地方創生拠点整備交付金を活用し、施設機能拡充事業（部屋の改修工事など）を実施するとともに、地域おこし協力隊を配置するなどソフト面での支援に取り組んだところである。

(2) 平成30年度以降の対応

30年4月のリニューアルオープン後は、桜まつりなどの新たな自主事業の取組や地域おこし協力隊のアイデアによる県外からの体験ツアーとなる「いわての暮らし体験交流プログラム」の実施、ヨガ教室の定期開催に取り組んでいる。

また、営業活動による新規顧客の誘客を行っており、県外大学の合宿を誘致したほか、市内外の老人会での日帰り旅行などで実績を増やしている。今後についても、職員研修によるサービスの向上や経費の削減にも取組ながら、新たな企画検討を行い、これまでの取組と効果の検証をしながら、利用客の増加や売上額の増収増益を目指していく。

4 第三セクター等経営健全化方針

別添のとおり。

5 今後の予定

平成31年3月6日 市議会全員協議会

平成31年3月末 公表

### 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年2月22日  
作成担当部署 玉山総合事務所産業振興課

### 2 第三セクター等の概要

法人名 たまやま振興株式会社  
代表者名 代表取締役 福田 稔  
所在地 岩手県盛岡市下田字生出893番地11  
設立年月日 平成9年9月5日  
資本金 55,000千円【当該地方公共団体の出資額（出資割合）47,500千円（86.4%）】  
業務内容 盛岡市総合交流ターミナル（ユートランド姫神）の管理運営

### 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

たまやま振興株式会社は、盛岡市総合交流ターミナル（ユートランド姫神）（以下「施設」という。）の管理運営を目的に設立され、平成10年4月の開設当初から現在に至るまで管理運営を行っています。

当該施設は、温泉を活用し、都市と農村との交流を目的として設置され、開設以来、玉山地域の住民をはじめ、近隣市町村や県外から年間で約20万人の利用者が訪れる多様な機能を有する交流施設として活用されています。

経営状況については、開業から7期連続して純利益を計上し、当時の玉山村への寄付や出資者への配当を行うなど経営は順調でしたが、社会情勢の変化、東日本大震災の発災などによる売上減少や、施設の老朽化などによる経費増加のため、継続的な純損失が発生しており、29年度は、当期純損失（税引後）が3,342千円となっています。また、負債処理をするため、資本金を実質的に取り崩し、29年度末で株主資本合計額は△4,579千円となっており、債務超過に陥っています。

開業当初、当時の玉山村が管理運營業務をたまやま振興株式会社に委託し、18年の合併（盛岡市・玉山村）後から市が指定管理者として指定し、施設利用料金等の自主財源のみで管理運営を継続していましたが、赤字経営が続き自主財源での運営が困難となったため、29年度から指定管理料の支出を行っています。

### 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

当市において、平成29年2月に改訂した「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の中で「東北の中核都市としての魅力・求心力の向上」を掲げており、その事業の1つとして、開設目的でもある「都市と農村との交流」を強化する検討を行い、29年度に地方創生拠点整備交付金を活用し、当施設機能拡充事業（部屋の改修工事など）を実施しております。

たまやま振興株式会社においては、29年12月に「経営改善計画」を作成したほか、新たな自主事業の取組や地域おこし協力隊のアイデアを活用し、営業強化、サービスの向上などを図り、利用客（交流人口）の増加や売上額の増収増益を目指しているところです。

今後においても利用状況等を踏まえ、市として、効果の検証を行ってまいります。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

### (1) 安心・安全な施設づくりへの取組

平成29年度に世代交流を促進するため、宿泊部屋の整備や屋外交流サイトの新設を行いました。施設を安心・安全に利用いただくため、30年度には、機械設備等を中心とした施設の修繕計画を作成し、31年度から順次実施していく予定としています。

### (2) 増収増益に向けての取組

安定的利用客の確保を行うほか、新規利用客の確保を行うため、次の3点を重点的に取り組みます。

#### ①地域等との連携強化による誘客推進

地域おこし協力隊による企画を30年から実施しており、7月から「ヨガ教室」を毎月開催しているほか、9月には「いわての暮らし体験交流プログラム」を企画し、首都圏や県外から約20名が参加し、参加者からはたいへん好評を頂いており、引き続き都市部からの交流・体験プログラムを企画・実践していくこととしております。また、地元企業等の定期的な会議等の利用、地域内にある石川啄木関連施設等観光施設利用後の当施設利用を図るため、地域、企業、関連団体と連携を図ることとします。

#### ②イベントの開催

30年度には、恒例だった「ユートランドまつり」等に加え、新たに「桜まつり」を実施するなど、季節ごとのイベントを定期的で開催するほか、「カリン風呂」の実施や、施設の空スペースを活用した写真展や書道展を実施しており、今後も期間限定イベントなどの新規開拓を検討することとします。

#### ③PR活動の強化

当施設の存在を知らない市民等も多いなど認知度が低い状況であったことから、当市では、29年度にホームページの刷新と併せスマートフォン対応のホームページを作成したほか、パンフレットの更新を行い、情報発信の充実を図りました。これらを活用し、地域での老人会などに出向き施設のPRを行い、日帰りによる宴会、県外大学スポーツ部の合宿を誘致するなど効果が出始めています。

今後、当市が市内外で開催するイベント等でのPR活動のほか、全国からの参加者が見込まれるいわて盛岡シティマラソンや国際俳句大会の開催、さらに、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックの開催により多数の観光客が来県すると見込まれることから、誘客に向けてホームページの適時更新に努めるとともに、営業活動等により認知度を上げ、誘客に努めることとします。

### (3) 従業員体制の整備及び質的向上への取組

安定的な運営を行うため、従業員の体制整備が必要となっています。30年度に調理部門で従業員を採用したほか、状況を踏まえ体制を整備していきます。また、職員研修を継続的に実施することで、利用者が満足できるサービスを提供できるよう努めていきます。

### (4) コスト削減への取組

販売費及び一般管理費のうち、大きな割合を占める燃料費、水道光熱費の物価上昇による影響を最小限とするため、温泉を供給するための重油使用を減らし、木質チップの使用割合を増やすことを実践しており、今後においては、電力使用の新電力の導入など、あらゆる面においてコスト削減に取り組めます。

以上の取組を行うことで、次表のとおり、利用者の増加及び収益の増加を目指します。今後についても効果の検証により、新たな企画検討を行ってまいります。

## 【利用者数】

【単位：人】

区 分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
クアハウス	109,432	75,681	117,400	118,574	119,760	120,957	122,167
郷土食	20,459	11,941	20,300	20,503	20,708	20,915	21,124
宿 泊	4,409	3,496	5,150	5,202	5,254	5,306	5,359
宴 会	4,170	1,552	3,700	3,737	3,774	3,812	3,850
産直売店	57,667	42,169	59,100	59,691	60,288	60,891	61,500
計	196,137	134,839	205,650	207,707	209,784	211,811	214,000

※28, 29年度は、実績値。30年度以降は、目標値。

※29年度は、リニューアル工事により12月より全館休館。

## 【収支額】

【単位：千円】

区 分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
収 入	117,967	105,607	136,300	136,500	137,700	139,000	139,200
支 出	128,274	108,949	135,780	136,353	136,937	138,021	139,105
経常利益	△10,307	△3,342	520	147	763	979	95

※28, 29年度は、実績値。30年度以降は、目標値。

※29年度は、リニューアル工事により12月より全館休館。

※収入は、売上の他、指定管理料を含む。

## 6 法人の財務状況

貸借対照表から

【単位：千円】

科 目	27年度	28年度	29年度
資産総額	22,131	11,479	5,858
(うち現預金)	15,829	6,070	1,423
(うち売上債権)	558	818	252
(うち棚卸資産)	2,193	2,039	2,011
負債総額	13,060	12,715	10,437
純資産額	9,071	△1,236	△4,579

損益計算書から

【単位：千円】

科 目	27年度	28年度	29年度
売上高①	113,405	117,247	75,844
原価・販管費②	125,326	128,049	108,764
営業損益③ ①-②	△11,921	△10,802	△32,920
営業外収入④	154	720	29,763
経常利益⑤ ③+④	△11,767	△10,082	△3,157
特別損失等⑥	185	225	185
当期純利益⑦ ⑤-⑥	△11,952	△10,307	△3,342